

## ごあいさつ

和歌山県立和歌山東高等学校  
校長 市川 貴英

和歌山県立和歌山東高等学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。

本校は、昭和49年に全日制普通科の学校として、昨年度、創立50周年を迎えました。卒業生は15,000名を越え、卒業生の多くは、地元和歌山県を中心として活躍しています。それゆえに本校は、地域や社会に貢献する若者を育てることを使命として、教育活動を続けてまいりました。

本校の校訓は『自主・自律・敬愛』です。この校訓が示しているように、以下の3点を重点目標としております。

- ・生徒一人ひとりが絶対的に価値ある存在であることを意識し、互いに尊重する。
- ・年齢や性別、性格や体格、学力や体力、ものとのらえ方や考え方など、一人ひとりで異なるものを、それぞれの個性として認め、自己を知り、『個性』を伸ばす。
- ・互いに尊重し、助け合って高校生活を過ごすために、学校や社会の約束やルールを守り、マナーを身につける。

次に、学習内容では、1年次、国語・数学・英語で学び直しを含めた習熟度別授業を行っています。さらに、2年次以降は進路希望に合わせ、Ⅰコース（商業・体育・芸術分野）、Ⅱコース（四年制大学・医療看護系進学分野）に分かれた中での習熟度別授業、少人数授業展開を行っています。このような取り組みによって、生徒一人ひとりの将来設計を見据え進路実現を目指しています。

また、本校独自の取り組みとして科目「教養基礎」（朝の読書活動を含む読解力や基礎学力を補う）と、7限目等に行っている科目「社会基礎」（個の学習状況に合わせた学び直し）の授業を行っています。

次に、生徒指導では、校則や社会のルール等を守れなかった生徒に対して、家庭で謹慎するのではなく、毎日、登校し授業に出席しながら謹慎を行う「学校謹慎」の特別指導を行っています。この特別指導の中で、別室での個別指導やカード指導などを通し、将来「よき社会人」となるために、丁寧な指導を心がけています。また、特別指導の期間中は「社会基礎」で個々の生徒の学習のつまずきに立ち戻って、基礎学力の定着もはかっています。

一方、部活動では、剣道部、フェンシング部、硬式野球部が全国レベルを意識した活動を続けています。特に、剣道部、フェンシング部は毎年のように全国大会に出場、また、硬式野球部も県内上位常連校として、近年、春の選抜高校野球大会に出場するなど、目ざましい活躍をしています。

これからも創立以来の伝統を踏まえながら、個々の生徒の成長を確かなものにし、成人として社会で活躍できる力を育むために、和歌山東高校は努力を続けますので、本校へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。